



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月28日

上場会社名 株式会社幸楽苑 上場取引所 東
 コード番号 7554 URL <http://www.kourakuen.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新井田 傳
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 武田 典久 (TEL) 024-943-3351
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 平成26年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	18,926	4.2	400	104.6	445	131.5	146	—
26年3月期第2四半期	18,158	△0.2	195	△40.5	192	△46.1	△27	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 180百万円(—%) 26年3月期第2四半期 △31百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	9.11	9.07
26年3月期第2四半期	△1.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	24,062	9,403	38.9
26年3月期	23,332	9,208	39.3

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 9,378百万円 26年3月期 9,182百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
27年3月期	—	10.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,529	0.8	1,078	19.5	1,037	12.7	277	63.9	17.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年3月期2Q	16,392,741株	26年3月期	16,363,741株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	265,291株	26年3月期	265,173株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年3月期2Q	16,110,286株	26年3月期2Q	16,007,814株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	8
(1) 販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)におけるわが国の経済は、政府の経済政策や金融政策の効果により輸出企業を中心に回復基調となりましたが、一方で、円安進行による原材料価格上昇や消費税増税による駆け込み需要の反動減等により個人消費が低調に推移するなど、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

外食産業におきましては、実質所得が伸びない中で消費者は節約志向を強めており、「食」の安全に対する社会的関心の更なる高まりに加え、人材確保の競争も一層激化しており、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、中長期的な数値目標を達成し企業価値を高めていくため、『収益基盤の改善と成長拡大への再挑戦』を行動目標として、体質強化に向けた収益構造の改善と積極的な新規出店を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高18,926百万円(前年同期比4.2%増)、営業利益400百万円(同104.6%増)、経常利益445百万円(同131.5%増)、四半期純利益146百万円(前年同期四半期純損失27百万円)と増収増益となりました。また、当第2四半期連結会計期間末のグループ店舗数は520店舗(前年同期比3店舗減)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであり、金額については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んで表示しております。

① ラーメン事業

ラーメン事業においては、「価格」より「価値」を重視した新メニューの「海老ギョーザ」や「鶏白湯らーめん」を全店に導入するとともに、好評を得ている「大盛り無料」キャンペーンを継続的に開催し、客数及び客単価の改善に努めてまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間における直営既存店の前年同期比は、客数が0.7%減少したものの客単価が5.7%増加したことにより売上高は4.9%の増加となりました。また、品質向上と原価低減対策として、小田原工場にチャーシューラインを新設いたしました。

店舗展開につきましては、国内においては新規に「幸楽苑」10店舗(ロードサイド3店舗、ショッピングセンター内フードコート7店舗)を出店するとともに、スクラップ・アンド・ビルドを2店舗、スクラップを11店舗で実施いたしました。また、海外においては新規に「幸楽苑」2店舗を出店いたしました。これにより、店舗数は、直営店501店舗(前年同期比3店舗減)となり、地域別では国内496店舗、海外5店舗、業態別では「幸楽苑」501店舗となりました。

この結果、売上高は18,427百万円(前年同期比4.5%増)となり、営業利益は1,304百万円(同17.2%増)となりました。

② その他の事業

その他の事業は、フランチャイズ事業(ラーメン業態のフランチャイズ展開)、その他外食事業(和食業態の店舗展開)、損害保険及び生命保険の代理店業務、広告代理店業務を行っております。

フランチャイズ事業につきましては、新規に「幸楽苑」1店舗(ショッピングセンター内フードコート)を出店し、店舗数は17店舗となり、業態別では「幸楽苑」17店舗となりました。また、その他外食事業につきましては、店舗数は直営店2店舗、業態別では「和風厨房伝八」2店舗であります。

この結果、その他の事業の売上高は861百万円(前年同期比0.1%減)となり、営業利益は159百万円(同0.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて619百万円増加し、3,685百万円となりました。これは、現金及び預金が677百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて111百万円増加し、20,377百万円となりました。これは、建物が136百万円、投資その他の資産「その他」に含まれる退職給付に係る資産が108百万円それぞれ増加し、投資その他の資産「その他」に含まれる繰延税金資産が102百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて730百万円増加し、24,062百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて256百万円増加し、7,065百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が175百万円、流動負債「その他」に含まれる未払消費税等が203百万円それぞれ増加し、未払法人税等が154百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて279百万円増加し、7,593百万円となりました。これは、長期借入金が352百万円増加し、固定負債「その他」に含まれる退職給付に係る負債が111百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて535百万円増加し、14,659百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて195百万円増加し、9,403百万円となりました。これは、利益剰余金が125百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月9日発表の業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

1. 「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が111,088千円減少し、退職給付に係る資産が103,375千円増加し、利益剰余金が139,821千円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

2. 「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成25年12月25日)を第1四半期連結会計期間より適用しております。

なお、当実務対応報告適用初年度の期首より前に締結された信託契約に係る会計処理につきましては従来採用していた方法を継続するため、当実務対応報告の適用による四半期連結財務諸表への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,651,937	2,329,690
売掛金	200,444	163,742
たな卸資産	300,294	304,364
その他	913,125	887,369
流動資産合計	3,065,802	3,685,167
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	6,112,474	6,249,329
土地	3,954,241	3,954,241
リース資産(純額)	3,717,863	3,766,838
その他(純額)	1,135,436	1,148,510
有形固定資産合計	14,920,016	15,118,919
無形固定資産	162,613	165,302
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,161,011	2,152,974
その他	3,024,008	2,941,733
貸倒引当金	△1,335	△1,350
投資その他の資産合計	5,183,684	5,093,358
固定資産合計	20,266,314	20,377,581
資産合計	23,332,116	24,062,748
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,394,779	1,399,961
短期借入金	338,500	396,000
1年内返済予定の長期借入金	935,170	1,110,873
未払法人税等	418,461	264,011
店舗閉鎖損失引当金	16,701	24,693
その他	3,705,574	3,870,079
流動負債合計	6,809,186	7,065,618
固定負債		
長期借入金	3,704,040	4,056,526
資産除去債務	677,816	695,801
その他	2,932,662	2,841,344
固定負債合計	7,314,519	7,593,672
負債合計	14,123,705	14,659,291

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,723,113	2,741,818
資本剰余金	2,719,535	2,738,240
利益剰余金	4,129,889	4,255,509
自己株式	△320,569	△320,728
株主資本合計	9,251,969	9,414,839
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,930	28,376
為替換算調整勘定	△6,774	△2,175
退職給付に係る調整累計額	△78,059	△62,334
その他の包括利益累計額合計	△69,904	△36,133
新株予約権	26,346	24,751
少数株主持分	-	-
純資産合計	9,208,411	9,403,457
負債純資産合計	23,332,116	24,062,748

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	18,158,793	18,926,939
売上原価	4,680,168	5,039,263
売上総利益	13,478,625	13,887,676
販売費及び一般管理費	13,283,124	13,487,595
営業利益	195,500	400,080
営業外収益		
受取利息	15,458	14,457
固定資産賃貸料	85,493	108,714
その他	72,199	112,552
営業外収益合計	173,152	235,724
営業外費用		
支払利息	44,581	44,271
固定資産賃貸費用	78,307	104,237
その他	53,557	42,229
営業外費用合計	176,446	190,739
経常利益	192,206	445,066
特別利益		
投資有価証券評価損戻入益	579	12,175
その他	63,254	3,911
特別利益合計	63,834	16,086
特別損失		
減損損失	46,438	29,248
その他	42,907	36,999
特別損失合計	89,345	66,248
税金等調整前四半期純利益	166,695	394,904
法人税、住民税及び事業税	200,180	223,950
法人税等調整額	△6,242	24,171
法人税等合計	193,937	248,121
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	△27,242	146,783
少数株主損失(△)	-	-
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△27,242	146,783

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	△27,242	146,783
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,037	13,445
為替換算調整勘定	△3,564	4,599
退職給付に係る調整額	-	15,725
その他の包括利益合計	△4,601	33,770
四半期包括利益	△31,843	180,554
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△31,843	180,554
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの報告セグメントは「ラーメン事業」のみであり、セグメント情報の開示の重要性が乏しいため、記載を省略しております。

4. 補足情報

(1) 販売の状況

① 品目別販売実績

(単位：千円)

品目	期別	前第2四半期 自平成25年4月1日 至平成25年9月30日		当第2四半期 自平成26年4月1日 至平成26年9月30日		(参考)前期 自平成25年4月1日 至平成26年3月31日		
		売上高	百分比	売上高	百分比	売上高	百分比	
直営店売上	国内直営店	らーめん類	8,693,687	47.9	8,750,486	46.2	17,615,466	47.4
		セット類	6,442,365	35.5	6,778,199	35.8	13,188,302	35.4
		ギョーザ	1,248,530	6.9	1,690,136	8.9	3,014,687	8.1
		ごはん類	347,933	1.9	358,202	1.9	693,245	1.9
		ドリンク類	460,566	2.5	442,372	2.4	853,883	2.3
		うどん・和食類	54,399	0.3	51,450	0.3	101,286	0.3
		その他	404,995	2.2	358,753	1.9	713,906	1.9
		小計	17,652,478	97.2	18,429,601	97.4	36,180,779	97.3
		海外直営店計	50,086	0.3	74,726	0.4	119,989	0.3
	計	17,702,564	97.5	18,504,327	97.8	36,300,768	97.6	
FC店等材料売上		364,679	2.0	321,606	1.7	705,360	1.9	
ロイヤリティ収入		47,511	0.3	42,007	0.2	92,053	0.2	
その他		44,038	0.2	58,996	0.3	102,910	0.3	
合計		18,158,793	100.0	18,926,939	100.0	37,201,092	100.0	

(注) 1. 数量は品目が多岐にわたり表示が困難なため、記載を省略しております。
2. 千円未満は切り捨てて表示しております。

② 地域別販売実績

(単位：千円)

地域別	期別	前第2四半期 自平成25年4月1日 至平成25年9月30日			当第2四半期 自平成26年4月1日 至平成26年9月30日			(参考)前期 自平成25年4月1日 至平成26年3月31日		
		売上高	百分比	期末店舗数	売上高	百分比	期末店舗数	売上高	百分比	期末店舗数
北海道		97,046	0.5	3	81,503	0.4	3	181,800	0.5	3
東北		4,772,042	27.0	113	4,992,432	27.0	113	9,756,715	26.9	113
関東		9,184,512	51.9	263	9,695,421	52.4	266	18,916,155	52.1	262
東海		1,879,336	10.6	65	1,913,748	10.4	60	3,821,871	10.5	63
北陸甲信越		1,257,552	7.1	41	1,318,389	7.1	41	2,581,707	7.1	41
関西		461,988	2.6	18	428,106	2.3	15	922,528	2.6	17
海外		50,086	0.3	2	74,726	0.4	5	119,989	0.3	3
計		17,702,564	100.0	505	18,504,327	100.0	503	36,300,768	100.0	502

(注) 1. 上記の金額は、直営店売上についての地域別販売実績であります。
2. 千円未満は切り捨てて表示しております。